



**伊藤千代子  
実行委員会ニュース**

**第1号**

**2020年3月19日**

編集・発行：「劇映画『伊藤千代子の生涯』（仮題）  
の製作・上映運動を進める実行委員会」  
（略称：伊藤千代子実行委員会）  
住所：東京都豊島区南大塚 3-43-13—302  
全日本年金者組合東京都本部内

**3月10日、第1回実行委員会を開催**

当面、次の方針を決め、行動を開始して行くことを確認しました。

都本部事務所 出席：杉山文一 宮地さか枝  
野口洋子 五十嵐美恵子

**議題**

- 1、 経過の確認  
既に、杉山さん、野口さんは、それぞれ10万円の債権を購入している。二人の気持ちは、良い映画の製作に協力し、多くの人に広めたいということ。安倍内閣のすすめる歴史の逆方向に対して、歴史の真実を広め、勇気をもたらす映画となる。
- 2、 今後の進め方
  - ① 各支部に取り組みを働きかけて行く。支部で中心になる人が他団体に呼びかけ実行委員会を作り運動を作ってもらおう。
  - ② 「年金者組合伊藤千代子サポーターの会」のカードを作る
  - ③ 実行委員会として、ニュースを作る。担当＝宮地、五十嵐
  - ④ 藤田廣登著『伊藤千代子の生涯』を広める。
- 3、 3月17日（火）女性部で伊藤千代子について学習会予定

**女性部、伊藤千代子の青春に心ゆすぶられる**

3月17日 女性部役員会で、「千代子の青春」特に、東京女子大在学中の、学習と活動について、『時代の証言者、伊藤千代子』の原作者、藤田廣登さんから20分ほどお話を聞きました。今から約100年前、女性の無権利状態に疑問を持ち、ベーベルの婦人論を学び現在のジェンダー平等の先駆けとなる男女平等、女性の自立の思想を確立していった千代子の姿を、藤田さんが情熱をもって語りました。千代子は、治安維持法によってとらえられ獄中での拷問にも挫けなかったが、最後は松澤病院で拘禁性精神病兼肺炎で病死します。

**「劇映画 伊藤千代子の生涯」（仮題）の製作・上映運動を進める実行委員会」の発足と申し合わせについて**

昨年末、「劇映画 伊藤千代子の生涯」（仮題）の映画製作と上映運動にご協力をして欲しいと、桂壮三郎監督と藤田事務局員が都本部に来られました。年金者組合都本部は、1920年代に、社会変革の運動に身を投じ、こころざし半ばにたおれた「劇映画 伊藤千代子の生涯」（仮題）の製作の趣旨を聞き、若い世代にも共感を呼ぶ良い映画作りに、人生の先輩者としても、製作と上映運動にかかわることは、良い機会と考えました。したがって、この映画の成功のために、製作と上映運動に賛同します。

以上の目的を達成するために、都本部に実行委員会を作り、申し合わせ事項を確認します。実行委員会に、実行委員長、事務局長、会計担当、若干の実行委員をおきます。

実行委員長 杉山 文一  
事務局長 宮地さか枝  
会計担当 野口 洋子  
実行委員 宮崎トミ子 五十嵐美恵子

- 1 映画の主人公の伊藤千代子について、理解を深め広めます。
- 2 上映会1回の上映債権10万円（製作支援）の販売一映画鑑賞者200名までの上映債権一に、全都的に応募活動をすすめていきます。
- 3 来春（2021年）4月にクランクイン、秋には完成し、上映の予定との事ですが、製作過程のニュースを届けます。
- 4 上映債権の有効期間は、最初の公開から3年間となっています。この間に財政活動や仲間作りも念頭において、上映債権を獲得した人・団体を中心に上映活動をすすめます。

この申し合わせは、2020年2月24日から施行します。

\*以上の申し合わせは、2月24日の都本部執行委員会で確認されました。